

ビデオ会議ASPサービス 「ビデオ会議@PTOPサービス」

菊地 正美

2008年9月のリーマンショックによる世界的な大不況下、各企業は設備投資抑制、コスト削減を最優先課題として取り組んでいる。沖電気ネットワークインテグレーション（以下OKINET）は2009年5月、ユーザーの初期導入時のコストを低減し、出張コストを低減するビデオ会議のASPサービスをリリースした。以下に「ビデオ会議@PTOPサービス」（以下、本サービス）を紹介する。

サービスの概要

現在、遠隔コミュニケーションツールの主流は電話、FAXから電子メールとなった。電子メールの最大の利点はデータファイルが送れることだと考えている。しかし、不満はある。相手との交渉事や機微な表現はメールでは伝えることはできない。やはり、前記のようなケースはF2F（Face to Face）の会議が必要である。本サービスは「距離を越えたF2Fコミュニケーション」を提供する。

本サービスはお客様がビデオ会議を行うための基盤を提供し（図1）お客様にとって「手軽に導入できる」、「専門知識が要らない」、「手間がかからない」、「役に立つ」、「安全」をコンセプトとしている。

① 手軽に導入できる

お客様の初期導入費を極力抑えるため、ビデオ会議を行う端末を含めてサービス化している。お客様が既にお持ちの専用端末（H263、H264準拠）、弊社が貸し出す専用端末、お客様がお持ちのPCを使用できる。したがって、お客様は設備を新たに購入する必要がない。また、ASPサービスのため、役に立たなければ解約できる。

② 専門知識が要らない

お客様がご用意するのは地域IP網（Bフレッツ）のみであり、ネットワークは当社が提供する。ネットワークに接続するための機器（VPN機器）は弊社が提供し、お客様はBフレッツVPN機器、端末をLANケーブルで接続するだけで使用することができる。

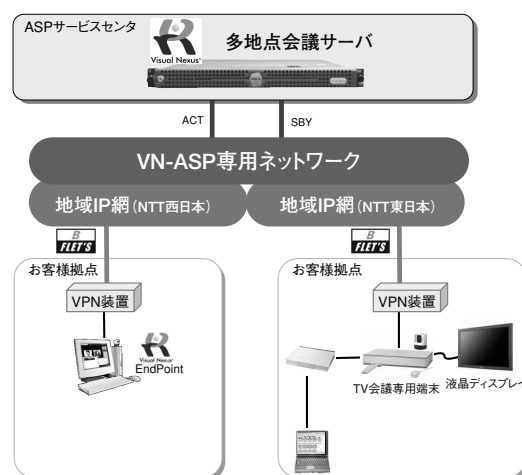


図1 システム概念図

③ 手間がかからない

システムは全て当社が運用しており、お客様によるシステムの管理は不要である。また、会議の運営（会議室予約、開催等）は自席のPCからインターネットを經由してWebブラウザで可能なため、会議を行うユーザーが自分で行うことができる。会議時、操作が分からない等の問合せに対応するヘルプデスクを用意している。したがってお客様の中に管理者は必要ない。

④ 高品質な画像、音声（役に立つ）

ビデオ会議ではネットワーク環境によって、画像、音声に異常がでることがある。このようなことがあるとユーザーはビデオ会議を使用しなくなる。折角、設備やサービスを購入してもユーザーが使用してくれなければコスト削減効果はでない。

本サービスではお客様のネットワーク環境に左右されないビデオ会議専用ネットワークを用意しているため、いつでも高品質な画像、音声で会議ができる。

また、ビデオ会議でF2Fと同様な会議を行うには、あたかも同じ部屋で会議しているような臨場感が必要である。本サービスでは臨場感溢れる会議を提供するため、高画質のSD方式、高音質のG722方式を採用している。

⑤ 安全

お客様の重要な情報（映像、音声、資料）の漏洩を防ぐため、本サービスでは強固なセキュリティを提供している。

a. ネットワークセキュリティ

- 通信データは全て暗号化
- ビデオ会議専用ネットワークはインターネットと接続されていないネットワークを採用

b. 端末セキュリティ

- 登録された端末しか接続させないIPフィルタリング

c. サーバセキュリティ

- 映像、音声、資料をサーバで蓄積しない

サービスの拡張

本サービスでは専用ネットワークを使用した企業内のビデオ会議を提供するが、今後、更なる利便性とビデオ会議を企業間のコミュニケーションツールとして確立するため、サービスの拡張を計画している。以下に今後のサービスの拡張計画を紹介する（図2）。

① 企業イントラ接続サービス

SaaS基盤を利用して各企業のイントラネットワークに接続するサービス。

② インターネット接続サービス

海外のユーザーや出張中のユーザー、SOHOのユーザーが利用できるインターネット接続を提供するサービス。

③ モバイル接続サービス

外出中でも会議に参加できる3G等のモバイルネット

ワーク接続を提供するサービス。

④ 企業間接続サービス

企業間の会議で使用できるよう異なる企業間を接続するサービス。

ビデオ会議は今後、益々需要が増えると予想される。OKINETはビデオ会議のSI経験を活かし、今後も、高利便性、高品質で安価なサービスを提供したいと考えている。 ◆◆

● 筆者紹介

菊地正美：Masami Kikuchi. 沖電気ネットワークインテグレーション株式会社 サービスビジネス本部

TIP 【基本用語解説】

H263、H264準拠

ビデオ会議通信の国際標準プロトコル。

SD方式

映像規格。映像の縦横比が4：3で有効画素数は最大で704×576。

G722方式

64kビット/秒以下の広帯域（50～7kHz帯域）のオーディオ（高品質音声）符号化方式。

SaaS (Software as a Service) 基盤

ソフトウェアをサービスとして提供するためのNW等のインフラ。

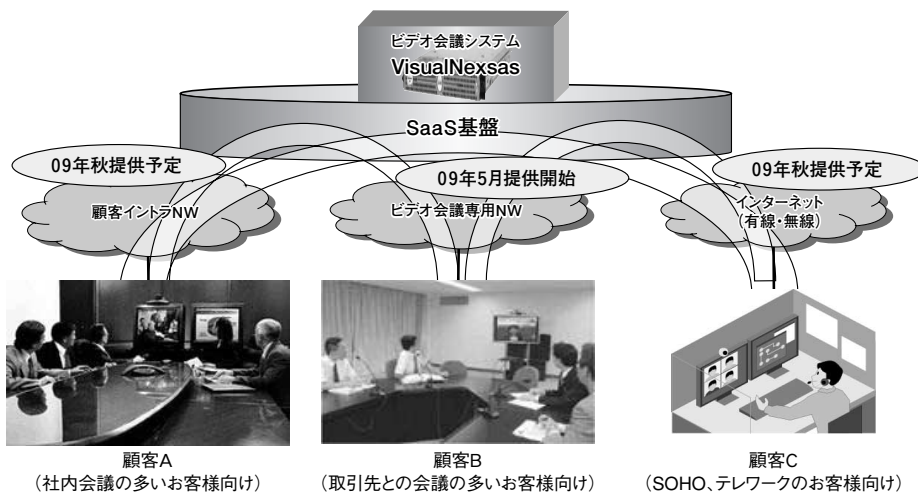


図2 今後の拡張計画